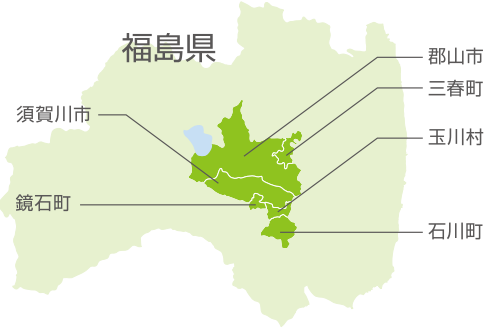


テクノポリス圏域の概要

面積	130,307ha(県土の9.5%)	人口	463,559人(平成29年10月県現住人口調査)(県人口の24.6%)
製造品出荷額等	1兆1,056億円(平成26年工業統計調査)(県全体の24.2%)		
付加価値額	3,259億円(平成26年工業統計調査)(県全体の20.2%)		
主な工業団地	郡山市	郡山中央工業団地、郡山西部第一工業団地、郡山西部第二工業団地、郡山ウエストソフトパーク 他	
	須賀川市	須賀川横山工業団地、須賀川北部工業団地、須賀川テクニカルリサーチガーデン 他	
	鏡石町	鏡石東部工業団地、鏡石境工業団地 他	
	石川町	石川西部工業団地、鳥内工業団地、藤沢工業団地	
	玉川町	玉川南工業団地	
	三春町	田村西部工業団地、大平工業団地 他	

テクノポリス圏域



①公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構
(ビッグバレットふくしま 3 階)



②郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
(日本大学工学部キャンパス内)

交通アクセス



- ③産業総合研究所福島再生可能エネルギー研究所
- ④福島県ハイテクプラザ
- ⑤奥羽大学
- ⑥ふくしま医療機器開発支援センター
- ⑦郡山女子大学
- ⑧郡山商工会議所
- ⑨日本大学工学部

Koriyama Area Technopolis Promotion Organization



公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構

〒963-0115
福島県郡山市南 2 丁目 52 番地 ビッグバレットふくしま 3 階
TEL.024-947-4400 FAX.024-947-4475
URL <http://www.techno-media.net6.or.jp/>
E-mail techno@nm.net6.or.jp

郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

〒963-0165 福島県郡山市田村町徳定字中河原 1 番 1 (日本大学工学部キャンパス内)
TEL.024-926-0344 FAX.024-943-4441
URL <http://www.techno-media.net6.or.jp/incubation/> E-mail monodukuri@nm.net6.or.jp



この印刷物は、環境にやさしい
植物油インキを使用しています。

紙ヘリサイクル可

この印刷物は、印刷用の
紙ヘリサイクルできます。

Koriyama Area Technopolis Promotion Organization



公益財団法人
郡山地域テクノポリス推進機構

支援制度と事業のご案内

当機構は1986年(昭和61年)3月に福島県、
テクノポリス圏域6市町村
(郡山市・須賀川市・鏡石町・玉川村・石川町・三春町)と
圏域内企業の基金造成により設立した公益財団法人です。
県や市町村、大学、各支援機関と連携し、情報提供や技術相談、
企業支援等に取り組んでいます。

こんな考えをお持ちの企業の皆様、 ぜひご連絡ください

- 新分野に挑戦したい
- 人材の育成・確保をしたい
- 技術相談をしたい
- 連携・取引を拡げたい・・・etc

新分野に挑戦したい

■ 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

研究開発による新製品の創出と起業化・事業化の成功確率を高めるため、研究開発の指導者がいる日本大学工学部キャンパス内に試作品を設計・製作する《場》、試作品づくりに必要な最低限の《設備》、経営・技術両面で支援する《人材》、そして、研究開発成果を広く発表する《機会》を提供します。

《場》

日本大学工学部キャンパス内に新製品を創る研究開発拠点として、低廉な料金で入居可能な起業支援室(貸研究開発室)を提供します。

《設備》試作品づくりに必要な各種工作機械(高精度立体加工用マシニングセンタ等)を備えた「試作センター」の利用が可能です。



■ 起業支援室（実験室タイプ）



■ 起業支援室（事務室タイプ）



■ 試作センター



■ 会議室

■ 各種支援制度

	F/S (実現可能性調査) 支援	研究開発助成 ※公募期間有	地域技術起業化助成 ※公募期間有	技術高度化研修助成
支援対象	●郡山地域テクノポリス圏域内に本社又は、主たる事業所を有している中小企業者及びこれらを主たる構成員とする団体・共同研究グループ ●郡山地域テクノポリス圏域で法人を設立しようとする方 ●「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」の入居者又は、所期の成果目的を達成し卒業した企業等 ●郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議の構成員等			
対象事業	●新技術・新製品の開発に関する実現可能性調査 ●生産工程の合理化・製品の高付加価値化に関する実現可能性調査	●新技術又は新商品の開発に関する研究開発 ●生産工程の合理化又は、製品の高付加価値化に関する研究開発やこれら技術の高度化に関する研究開発	●研究段階を終え起業化の可能性が高まった地域技術を応用可能な段階へ熟成させ、製品化・商品化のため、商品・デザイン開発、情報収集、能力開発、市場開拓など	●技術力向上による取引拡大や組織・経営の確立を図る目的で受講する国・県・市町村、専門教育研修機関及び関連企業等が行う研修で4日以上開催する事業
助成内容	対象経費の3分の2以内で100万円を限度	対象経費の3分の2以内で200万円を限度。ただし、再生可能エネルギー、医療福祉機器及びロボットに関する技術高度化に要する研究については300万円を限度	対象経費の3分の2以内で300万円を限度	対象経費の2分の1以内で30万円を限度

《人材》

・インキュベーションマネージャーによる経営・技術両面でのアドバイスや各産業分野の専門家・支援機関などを紹介します。

・技術コーディネーターによる研究開発や起業化等の助成支援、企業・大学等高等教育機関・公設試験研究機関等の研究者等との連携をサポートします。

《機会》

入居企業の起業化・事業化を支援するため、産業祭等のイベントや同センター内に成果品等を展示するなど、研究・開発成果を広く周知する機会を提供しています。

応援します

私たちはものづくり企業を

人材の育成・確保をしたい

■ マイスターズ・カレッジ(産学連携製造技術人材育成事業)

企業、大学等高等教育機関、産業支援機関等との産学連携により、基盤技術高度化を図る研修事業を実施し、製造現場等の中核人材育成を通じて企業の付加価値を高めることを目的としています。

毎年、必要とされる技術を捉えた育成カリキュラムにより、各コース10名程度の小人数で実践的な技術を学ぶことができます。

■ 就職活動を控えた学生の企業視察を仲介

大学等高等教育機関からの依頼により、就職活動を控える学生を対象にテクノポリス圏域企業を知る機会を提供し、雇用の促進につなげます。

技術相談をしたい

当機構の技術コーディネーターが、ものづくりに関連するテクノポリス圏域内の中小企業が、新分野進出、新製品開発等を行う際に必要となる大企業、中小企業等の連携や共同開発などをコーディネートします。

大学等高等教育機関の研究成果と、中小企業がもつ技術力を結びつけて、既存技術の高度化や新

製品開発を目指す産学連携をコーディネートします。

相談は無料ですので、お気軽にご連絡ください。当機構の技術コーディネーターの情報は、下記に記載の当機構ウェブサイトでご覧いただけます。

(<http://www.techno-media.net6.or.jp/coordinator/>)

連携・取引を拡げたい

■ 会員制の会議、研究会

郡山テクノポリス地域戦略的
アライアンス形成会議（年会費 2万円）

須賀川方部アドホック研究会
（年会費 5万円）

●技術連携や販路拡大を当機構の技術コーディネーターが優先的にサポートします。
●会員企業、高等教育機関、産業支援機関等による企業製品・研究成果等発表会を開催し各種情報を発信します。

●日本大学工学部の先生方がコーディネーターを務める各種研究会(フォーラム)に運営側として参加することが可能です。

●「Linkers(リンカーズ)」による大手企業からの製品開発や技術協力などの非公開案件情報を優先的に提供します。

毎月例会を開催し、会員相互の技術・情報などの交流と幅広い研究を通して、新技術、新商品、新事業の開発を促進するとともに、生産・販売面での相互協力を促し、会員企業の成長発展と地域産業の振興に貢献することを目的に活動している自主的な研究会です。



会員が自主的に勉強テーマを出し活動しています。